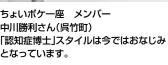
だからこそできる すてきな まちづくり

一瞬に熱い想いを 見る人も 込めて演じます 具剣勝負



▲ちょいボケー座 中川勝利さん(呉竹町) 「認知症博士」スタイルは今ではおなじみ

わっている中川勝利さんにお話を聞 を行っています。 からユーモアを交じえて普及・啓発 は、認知症についていろいろな視点 公演をしている「ちょいボケー座」で ポーター」の皆さんが中心となって だけ知っていますか?「認知症サ いてみました。 座」の立ち上げ当初から活動に関 皆さんは、「認知症」についてどれ その「ちょいボケ

私でしたが **.**しょうがない」とはじめた

じめたことを覚えています。小学校 での第1回目の公演は、寸劇ではな れ「しょうがないなぁ…」と思っては に関する授業をしてほしい」と頼ま 最初は、市から「小学生へ認知症

> を」と思い、今の寸劇スタイルをみん どもだけでなく大人も楽しめるもの きゃ」と思い、どんどん前向きに取り の反応がよく「もっと自分も勉強しな なでつくりました。 組むようになりました。そして、「子 く紙芝居でした。とても子どもたち

だんだん広がる仲間の輪

場面になり、役のバリエーションも 少なくなりました。また、場面が3 入ってくれて、一人あたりの負担が 知症に関心がある方がメンバーに たりの台詞が多く大変でした。 面しかありませんでしたが、 たい!」と参加してくれる方や、 今は、寸劇を見て「私もやってみ 初期のメンバーは少なくて、 2場 人あ 認

となっています。 られるよう頑張っていきたいです。 真剣に聞いているので、それに応え じゃないから」と何か目的を持って 族が認知症かも…」「私も他人事 います。 いただいているという熱意を感じて 見る方もレベルが上がっているよう した。それだけ、 ご意見をいただくことが増えてきま 小学校の人も参加させてみなよ」と 認知症について年々理解が深まり 「今年は○○がよかったよ! 見に来てくれる人は、

ちょっとした きっかけになってほし

なっています。 どもでも退屈せず楽しめる内容と えるきっかけになると思います。子 すべてを理解することはできません ちょいボケー座を見て、認知症の 認知症について家族や知人と考

市役所保健福祉グループの保健師に聞いてみました!

てくれる仲間になってほしいです。 い!」という方は、いっしょにやっ もっと知りたい!」「もっと広めた し、ちょいボケー座を見て、

ちょいボケー座に関わっている 保健師の皆さん

の古族が、いずらつ座 太郎さんはお食行

真剣に寸劇を見て

家





演じてくれています。

見てくれる人もレベルアップ

囲気も年々よくなり皆さん一生懸命 ように感じています。メンバーの雰 豊富になってレベルが上がってきた

①昨年度本番のようす。今年度で7年目を迎え たちょいボケー座。「認知症になっても安心し て暮らせる地域をつくりたい」という想いが詰 まっています。

②練習風景。今では、メンバーでシナリオを考え たり、練習の中で意見を出し合いわかりやすい 内容にしようと努めています。 ③観客のアドバイスを取り入れ、2年前から小学 生にも出演してもらっています。

◆「認知症」ってなんですか? 誰にでもおこりうる脳の病気で、記憶障害や認知障害と いった症状が表れますが、周囲の理解や気遣いがあれば、 穏やかに暮らすことができます。

◆「認知症サポーター」について教えて

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、偏 見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守 る応援者です。誰でもサポーターになることができます。

> ちょいボケー座をとおして、少しでも多 くの人に正しい認知症の知識を理解して もらいたいです。

問合せ先 **☎** 52-9871 いきいき広場内保健福祉グルー